

科目名:精神看護学概論

単位時間:1単位(30時間) 1学年

科目目標:1 精神看護の基本的な考え方について理解できる。

2 精神保健医療福祉の変遷を、歴史的・社会的・医療的見地から理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 精神看護の目的と意義を理解できる。	2 (1回)	1) 心のケアと現代社会 2) 精神看護の目的と対象	
2 精神の健康の意義と構造を理解できる。	2 (1回)	1) 精神の健康 (1) 精神の健康の概念、精神障害の予防概念 (2) 心の健康に関する普及活動 2) 精神の構造と機能 (1) 精神と情緒の発達 (2) 自我の機能、防衛機制 (3) 精神力動、転移感情	
3 精神看護の基盤となる理論を理解できる。	4 (2回)	1) 自我の発達段階、心理社会的発達論 2) ストレスと対処行動 (1) ストレスとその反応、対処行動 (2) 危機理論、危機の概念、予防と介入 (3) 適応理論	
4 生活の場における精神保健と危機的状況について理解できる。	4 (2回)	1) 各発達段階における危機的状況 (1) 乳幼児期 (2) 学童期 (3) 思春期・青年期 (4) 成人期 (5) 中年期 (6) 老年期 2) 生活の場における危機的状況 家庭・学校・職場・地域	
5 災害時の地域精神保健医療活動について理解できる。	2 (1回)	1) 災害時の精神保健医療活動 (1) 被災者・災害救援者の精神保健初期対応 (2) 被災者・災害救援者の治療継続への援助 (3) 心的外傷後ストレス障害(PTSD)	
6 リエゾン精神看護について理解できる。	2 (1回)	1) リエゾン精神看護とは (1) 心身相関の考えに基づくホリスティックケア (2) 看護師のメンタルヘルス	
7 精神保健医療福祉の歴史と制度について理解できる。	4 (2回)	1) 精神保健医療福祉の変遷、日本と諸外国 2) 精神保健福祉に関する制度 (1) 権利擁護、入院形態、精神保健指定医、保護者 (2) 障害者総合支援法、心神喪失者等医療観察法	
8 精神障害者のリハビリテーション、保健福祉活動が理解できる。	8 (4回)	1) 社会復帰・社会参加の支援 (1) リハビリテーションの概念(ICF) (2) 長期入院患者の退院支援 2) 保健医療に関する資源の活用と調整 (1) 保健所、精神保健福祉センター (2) 訪問看護、精神科訪問看護 (3) 自立支援医療、精神障害者保健福祉手帳 3) 福祉に関する社会資源の活用とケアマネジメント (1) 就労移行支援、就労継続支援A型・B型 (2) 居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護 (3) 生活訓練、短期入所、共同生活訓練 (4) 地域生活支援事業 4) 家族 家族の対処力 患者家族関係	精神保健福祉センター見学 2H
	試験2H		

科目名:精神に障害をもつ人の理解

単位時間:1単位(30時間) 2学年

科目目標:1 精神障害の特徴と治療を理解できる。
2 精神に障害をもつ人の看護の基本を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 脳の仕組みと精神機能・症状を理解できる。	14 (7回)	1) 主な精神機能、精神症状と精神障害 (1) 知覚、思考、意識、感情、意欲 (2) 脳と免疫機能	
2 精神障害の分類と検査を理解できる		1) 精神障害の分類 DSMとICD 2) 検査 脳波検査、心理検査	
3 主な疾患の特徴と治療を理解できる。		1) 主な疾患の特徴 (1) 統合失調症 (2) 気分(感情)障害 (3) 神経性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 (4) 生理的要因,身体的要因に関連した行動症候群 (5) パーソナリティー障害 (6) 器質性精神障害 (7) てんかん (8) 精神作用物質による精神および行動の障害 (9) 神経発達障害 (10) 秩序破壊的衝動制御 (11)心身症 2) 主な治療 (1) 薬物療法 (2) 電気けいれん療法 (3) 精神療法 個人・集団精神療法 認知行動療法 (4) リハビリテーション療法 OT、芸術療法、SST	
4 精神に障害をもつ人の看護の基本を理解できる。	2 (1回)	1) 精神に障害をもつ人の理解	
	4 (2回)	2) 精神科看護の目標、役割 3) 観察と記録 4) 治療的環境の提供 5) 権利擁護(アドボカシー) 6) リスクマネジメント (1) 自殺企図 (2) 転倒 (3) 誤飲 (4) 誤薬 (5) 院内感染 (6) 離院 (7) 喫煙等による火傷・火事	
	2 (1回)	7) 他職種との連携 (1) 精神保健福祉相談員、自助グループ、ピアサポーター、退院後生活環境相談員 8) ケアマネジメント	
5 精神科看護の場とそれぞれの役割を理解できる。	2 (1回)	1) 外来・病棟での看護 2) 生きる力と強さに着目した看護 (1) レジリエンス (2) ストレングス (3) リカバリー (4) エンパワーメント 3) 精神科リハビリテーション 4) 地域での看護 (1) 訪問看護 (2) デイケア	
6 精神に障害をもつ人の家族の看護を理解できる。	4 (2回)	1) 家族の理解とその援助 (1) 精神に障害をもつ人と家族 (2) 家族への支援	当事者の話 (2H)
7 セルフケア理論を理解できる。		1) セルフケア理論 2) オレム・アンダーウッドモデル	
	試験2H		

- 科目目標:1 患者－看護師関係成立発展の技術を理解できる。
 2 精神の健康増進・回復の技術を理解できる。
 3 再構成の技術を用いた自己洞察の意義を理解し、再構成の実際が理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 患者－看護師関係成立発展について理解できる。	2 (1回)	1) 人間関係論 2) ペプロウの患者－看護師関係の発展段階 3) 精神看護師の役割	
2 精神の健康増進・回復の援助方法を理解できる。	4 (2回)	1) 精神看護におけるコミュニケーション技術 (1) 基本的なコミュニケーション技術 (2) 精神科看護のコミュニケーションの特徴 (3) アサーティブ (4) 患者－看護師関係のコミュニケーションの実際 2) 看護カウンセリング ①指示的面接、受容的・共感的関わり ②看護カウンセリングの方法 (ブリーフセラピー) 3) 集団療法と看護 (1) 集団療法とは (2)心理教育的アプローチ ①ストレス 脆弱性モデル ②心理教育の目的・対象 ③情報提供と問題解決セッション ④心理教育の実際 ・モジュールを用いた訓練	<演習> (2H) 「コミュニケーション」
	4 (2回)	(3) SST ①SSTの目的・対象 ②SSTの種類 ③情報提供と問題解決セッション ・基本訓練モデル ・問題解決技能訓練	(2H) 「包括的暴力防止プログラム・SST」
		4) 安全な治療環境の提供 (1) 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム (2) 自傷・他害行為と支持的面接	
3 再構成の実際が理解できる。	4 (2回)	1) 再構成とプロセスレコード (1) 自己洞察の意義 (2) プロセスレコードの目的・方法 ①ペプロウ ②オーランド ③ウィーデンバック (3) 再構成の実際	<演習> (4H) 「再構成」
	試験1H		

科目名:精神に障害をもつ人の生活と看護

単位時間:1単位(30時間) 2学年

- 科目目標:1 精神に障害をもつ人の生活の特徴を理解できる。
 2 精神に障害をもつ人と家族の看護を理解できる。
 3 統合失調症をもつ人の特徴に合わせた看護過程の展開を理解できる。

学 習 目 標	時間数 (回数)	学 習 内 容	備 考
1 精神に障害をもつ人の生活の特徴と家族を含めた看護を理解できる。	18 (9回)	1) 統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害 (1) 主な精神症状と看護 (2) 経過に応じた看護 (3) 精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント (4) 薬物療法と看護 (5) 電気けいれん療法と看護 (6) リハビリテーション療法、地域生活の支援 2) 気分(感情)障害 (1) 精神症状・身体症状・セルフケアのアセスメント (2) うつ状態・躁状態にある人の生活と看護 (3) 自殺予防と対策 (4) 薬物療法と看護 3) 神経性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 (1) 不安と防衛機制 (2) 強迫性症状と看護 4) パーソナリティー障害 (1) 成長発達の特徴 (2) 操作・試し行為と看護 5) 生理的要因,身体的要因に関連した行動症候群 (1) 摂食障害と看護 (2) 性機能不全、性同一性障害 6) 精神作用物質による依存、精神・行動の障害 (1) アルコール離脱症状と看護 (2) 依存症のリハビリテーション 7) 器質性精神障害、てんかん (1) 認知症 の生活の障害、家族支援 (2) 器質性精神障害、てんかんの症状と看護 8) 精神遅滞 (1) 精神遅滞、知的能力障害に対する支援 9) 神経発達障害群 (1) 心理的発達の障害、行為障害に対する支援	
2 精神に障害がある人が、地域で生活するために必要な援助が理解できる。	2 (1回)	1) 地域移行支援と、生活の障害への看護 (1) 自立支援医療、精神障害者保健福祉手帳 (2) 生活訓練、短期入所 (3) グループホーム、ホームヘルプ (4) 就労支援、就労移行支援、 就労継続支援A型・B型 (5) 精神科訪問看護 デイケア、ナイトケア (6) 地域生活支援事業	
3 統合失調症をもつ人の特徴に合わせて事例展開できる。	8 (4回) 試験2H	1) 統合失調症をもつ人の事例展開 (1) 情報の整理とアセスメント (2) 看護問題の明確化 (3) 援助の方向性	<演習> (8H) 「看護過程」